

女性に対する暴力をなくす運動

11月12日(木)～25日(水)

市は、11月を女性への暴力防止取り組み月間とし、3庁舎・中央図書館・生涯学習センターにパープルリボンツリーを設置します。



女性への暴力撲滅を訴える パープルリボン・プロジェクト

1994年にアメリカで始まった運動。紫色のリボンを身に着けたり、飾ったりすることで、DVや性犯罪など女性に対する暴力をなくしたいという意思表示につながります。

暴力を受け続けると、心身に取り返しのつかない傷を負うことになります。あなたの痛みを受け止めます。悩み事は相談機関へ。

◇子育て支援課婦人相談(☎64-7573)

月～金曜日 午前9時15分～午後4時

◇岩手県男女共同参画センター(☎019-606-1761)

月・水・木・土・日曜日 午前9時～午後4時

火・金曜日 午前9時～午後8時

問い合わせ 地域づくり課☎72-8300



祝い状を手にするイヲさん(前列左)

千田イヲさん(臥牛)は大正4年9月1日生まれ。21歳で故貞夫さんと結婚し、子2人、孫5人、ひ孫1人に恵まれています。堅実にしっかり者と家族に慕われるイヲさん。昔は菊の出荷など園芸農業に従事していました。現在は、毎日欠かさず新聞を読み、大好きなテレビを見ながら過ごしています。長生きの秘訣を聞くこと「あまり考えずに生きることに、好きなことをすること」と話していました。

阿部市郎さん(立花)は大正4年9月10日生まれ。24歳で結婚し、子3人、孫7人、ひ孫5人に恵まれています。太平洋戦争では応召して旧満州へ。終戦後、40歳で現在の妻ヤスさんと再婚し、60歳過ぎまで大工をしながら農業も営んでいました。現在の楽しみは、デイスーパービスでの会話やひ孫のピアノ演奏を聴くこと。百歳を迎え「みんなに支えられたおかげです」と感謝していました。



花束を手にする市郎さん(前列左)

百歳 これからもお元気で

市は、9月に満百歳を迎えた2人に祝い状と記念品を贈り、長寿を祝いました。